

令和6年度 第1回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年 5月 10日（金） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、野澤 講一、大石 欽也、坪井 道男、新井 恵美子、大栗 智恵、内山 達也、鈴木 俊弥、武田 あゆみ
- 4 欠席委員 市川 紀史
- 5 学 校 木下 栄二（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、野澤会長から出野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について概要説明
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）学校支援について

10 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について概要説明

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和6年度学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 基本方針の中にも組み込まれているICT教育だが、平行して情報モラルについての学習にも重点を置いてほしい。（出野委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（3）学校支援について

議長の指示により、学校支援コーディネーターである武田委員から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 学校支援において注意しなければいけないのが、支援と指導の違いであり、起こりうるトラブルを回避するためにも明確化する必要があると思う。（武田委員）

- ・ 最終目標である米の販売において、お米の売上金をどう使うかまでを考えることが、子供たちの学習だと思う。(大石副会長)
- ・ 収穫した米を活用するという考えから、以前ではカレーやおにぎりを作って地域の方たちへ振る舞ってくれた。また、再開してはどうか。(坪井委員)
- ・ 食べ物に関してアレルギー等の安全性が確認できれば、再開も可能であると思う。また、学校から地域の方へ返礼できるものがあれば、ご協力くださる方のお気持ちにも張りが生まれるのではないかと考えていきたい。(校長)
- ・ 米粉を作って活かすのはどうか。米粉は、健康食であり、フードロス問題やSDG'sの観点からも注目されはじめている。活用のしかたを考えてみてもよいと思う。(大衆委員)
- ・ 米にまつわるお祭りとして、地域の神社でも11月には新嘗祭が執り行われている。神社の神主さんにお問い合わせすれば、いろいろなお話が聞けると思う。(野澤会長)
- ・ キャリア教育の観点から、販売に関するノウハウ等を、この地域にお住まいの社長さんを招いてお話を聞いてもよいと思う。(内山委員)
- ・ 皆さんからの豊富な情報により、この地域は人材の宝庫であると感じた。この情報を授業に活かすべく頑張っていきたい。(武田委員)
- ・ このコミュニティ・スクールで熟議した内容を具現化するためにも、自治会や地域の各団体がつながり、学校を核として地域全体の活性化を促せていけたらと思っている。(野澤会長)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年7月4日(木)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。